

ターミナルケア

実践

《オンライン開催》

高齢者施設におけるターミナルケアの実践

開催
日時

令和5年3月23日(木)

10:30~15:30

(受講料) 一般: 8,000円 法人・個人会員: 7,000円

高齢者の施設でも、施設で最期を迎えられることが求められ、施設としても様々な取り組みが実践されはじめているものの、ターミナルケアを行うこととなった職員の方の気持ちは、いかがでしょうか？

本研修では、ターミナルケアへの理解や心構えや職員としての役割について、たくさんの方を見送っていらした鳥海先生から様々なエピソードとともに「死」について理解し、日々のケアの中でも、自然に「死」と迎い合い、その方らしい最期を迎えるためのターミナルケアを実践方法を学びます

《カリキュラム》

- ・ターミナルケアの現状と課題
- ・高齢者のターミナルケアの特徴とそのポイント
- ・ターミナルケアが可能な疾患と症状、およびその時期の判断「そろそろ…」って？
- ・看護・介護職とその他の関係職種との協働と医療機関との連携
- ・家族の心の揺れを支えるもう一つのターミナルケア「死」の説き方
- ・ターミナルケアの振り返り、カンファレンスとそこからの学び
遺体はケアの通信簿

講師

特定非営利活動法人 メイアイヘルプユー

保健師 鳥海 房枝

豊島区の保健所を皮切りに保健師歴38年。保健所、障害者センター、お年寄り相談係を経て、1998年10月、新設の北区立特別養護老人ホーム「清水坂あじさい荘」に希望して赴任。保健師としての原点「生活への関わり」を要につくりあげた「あじさい荘のケア」が現場から大きな支持を受けていた。厚生労働省の身体抑制ゼロ推進会議の委員（マニュアル部会、ハード部会）、同じく東京都の委員のほか、東京都看護協会の保健師職能委員。



受講推奨者

介護福祉関係者

初級～中級
介護・施設